



議会第3回定例会の様子

平成26年 第3回
定例会

9月9日～19日

議員定数2減を可決

次回の選挙より12人から10人へ

議員定数条例の改正案を提出

最終日に、議員提案により議員定数を10人とする議案が提出されました。

〈質疑〉

Q 提案理由を明確に。

A 現状や近隣の市町を参考にし、当町では10人が妥当です。

Q 町民の声がまだ議会に届いていないことに、どのような結論をもっていますか。

A 特別委員会で協議をして決まっています。議員が地区に向いて、説明する機会を設ければ10人で足りません。

〈討論〉

○反対 一度10人にしたら、12人へは戻らない。慎重に検討を。

○賛成

定員減は財政難の町にとって、大きな意味の議会改革。民意の反映です。アンケートでも、10人

上が128人、10人以下が193人。それをふまえ10人が妥当。

○反対

議員は公選です。選ぶ方は候補が多いほうがいい。定数が少なくなればなるほど、新人が出ていく。

当町の議員1人当たりの人口は県内で中間値です。急ぐ必要もない。

○賛成

改革の第一歩が議員定数の削減だと思います。

地域の声が聞こえにくいなどの意見は、特別委員会で議論します。

定員の削減は、アンケートでも半数近くあり、住民の民意です。

○反対

アンケート調査は、定数をどれぐらいにするか、わからないという方も半数います。

民意といわれたが、半数

の方はわからないという事です。

○賛成

特別委員会を設置した以上は定数削減が改革の根幹です。議員自身身を削って、示すのが本意です。

増税、行政サービスの低下、また他の市町が削減している中、当町においてそんな声が出て当然です。

○反対

議会改革特別委員会で議論されて上程されたかのように、今後やっていけばとのこと。まだまだ特別委員会の中で議論する必要があります。

○賛成

地方分権が叫ばれ、国・県から権限移譲され、議会が基準をつくり、議論できる人数を考えた場合、議会の体を成す最低ラインエリアの議論です。

10人という提案をふさわしくないかと判断します。

○賛成

議会改革特別委員会が発足して2年弱勉強し、定数削減が議会に求められていることは承知しています。

町長と議会は2元代表制で、町長は提案し、その方向を決めていくのが議会です。

特別委員会で、常任委員会などは議員全員でやればいいという意見を述べてきました。

議会改革の関係を、皆さん第一優先でやっていると思いますが、議員として公選で選ばれた以上は、第一にそれが自分に与えられた責務であると考えています。

○反対

区長会から、定数削減の提案があったということでしたが、議会の改革は議員の仕事で、討論を進めていくべきだと考えています。

○賛成

提案は、民意として議会へ出されました。

○反対

議員はいかに町をよくするかについて、働いているのではないかと思います。

定数の削減は、経費の圧縮となり、大事なことですが、そのため議員の行動範囲が少なくなると、住民に迷惑がかかることがあってはいけません。

○賛成

アンケート調査は、定数をどれぐらいにするか、わからないという方も半数います。民意といわれたが、半数